



平成 30 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 石 原 産 業 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 田 中 健 一
 コード番号 4028 東証第一部
 問合せ先 常務執行役員財務本部長 川 添 泰 伸
 (TEL. 06-6444-1850)

第 2 四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 30 年 8 月 10 日に公表しました平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）の業績予想と実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 30 年 6 月 2 日に公表しました通期業績予想について、下記の通り修正しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間予想数値との差異（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 52,500	百万円 2,900	百万円 3,000	百万円 2,100	円 銭 52.54
今 回 実 績 (B)	52,232	4,580	4,981	3,935	98.46
増 減 額 (B-A)	△267	1,680	1,981	1,835	
増 減 率 (%)	△0.5	57.9	66.0	87.4	
(ご参考) 前期第 2 四半期累計期間実績	52,904	3,858	3,409	2,508	62.74

2. 平成 31 年 3 月期通期業績予想の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

(1) 連結業績予想の修正

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 109,000	百万円 4,400	百万円 3,300	百万円 1,800	円 銭 45.03
今 回 修 正 予 想 (B)	108,000	7,400	7,300	4,800	120.09
増 減 額 (B-A)	△1,000	3,000	4,000	3,000	
増 減 率 (%)	△0.9	68.2	121.2	166.7	
(ご参考) 前期（平成 30 年 3 月期）実績	108,001	10,022	8,414	3,442	86.12

(2) 個別業績予想の修正

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 81,000	百万円 1,800	百万円 1,900	百万円 1,100	円 銭 27.52
今 回 修 正 予 想 (B)	83,000	4,500	5,200	4,300	107.58
増 減 額 (B－A)	2,000	2,700	3,300	3,200	
増 減 率 (%)	2.5	150.0	173.7	290.9	
(ご参考) 前期 (平成 30 年 3 月期) 実績	81,281	9,453	7,883	3,124	78.17

3. 差異及び修正の理由

第2四半期累計期間の連結業績の実績については、平成30年8月10日に上方修正し公表した前回発表予想に対して売上高は概ね予想通りとなり、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の各利益はともに前回発表予想を上回りました。

今回実績については、前回発表予想通りに有機化学事業の主力農薬では米州、アジアで販売が好調に推移したこと、無機化学事業ではチタン鉱石をはじめとした各種の原料価格が軒並み上昇してきているものの、先行して取り組んできた酸化チタンの輸出価格改定が浸透してきたことなどに加え、支出時期の一部変更や見直しなどにより研究開発費が減少したことなどが利益面で寄与し、前回発表予想を上回りました。

通期業績予想については、第2四半期累計期間実績や第3四半期以降の事業環境の動向を踏まえて、平成30年6月2日に公表しました通期の業績予想数値（連結・個別）を上記の通り修正いたします。

なお、この見通しの算出に際して前提としている第3四半期以降の主要通貨の為替レートは、110円／米ドル、130円／ユーロと想定しております。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上